



正しい知識で未来を守ろう
あなたや家族を守るため

知ってほしいがんのこと

第1期 静岡市がん対策推進計画
中間評価・中間見直し 概要版



このリーフレットはがんに関する正しい知識を広めるとともに、予防と早期発見の重要性の普及啓発、患者さん・ご家族への理解促進のために作成しました。詳細な情報やサポートが必要な場合は、担当医や相談窓口にご相談ください。

静岡市 保健衛生医療課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL : 054-221-1549 FAX : 054-221-1162

バラは年間を通じて生産される、静岡市を代表する花の一つです。

計画全文



令和6年3月



あなたはいくつご存知ですか？

1. 予防と早期発見

がんは、日本人の2人に1人以上が一生のうちにかかると推計されており、あなたやあなたの大切な方がいつかかってもおかしくない病気です。

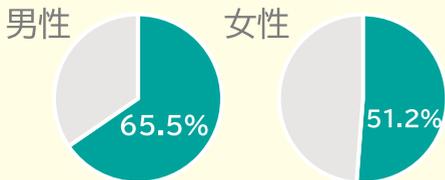
がんを正しく知ることは、ご自身の健康を守るだけでなく社会全体のがん対策を進めることにも繋がります。

がんに関する正しい知識を身につけ、自分事としてとらえていただくとともに患者さんやご家族への理解をお願いします。



静岡市長 難波 喬司

生涯で2人に1人以上がかかる



日本人が一生のうちにかん診断される確率
出典 国立がん研究センターがん情報サービス（2019年データに基づく）

しかも3人に1人は働く世代(20代~60代)



子宮頸がんは20代から、乳がんは30代から増加



禁煙などの5つの健康習慣でリスクが4割減



できているものにレ点

- 禁煙する
- 食生活を見直す
- 適正体重を維持する
- 身体を動かす
- 節酒する

HPV ワクチン接種で子宮頸がん等のリスク減



がん検診等で早期発見・治療すれば9割以上が5年後も生存(肺がんを除く)



※1 出典 全国がん登録システム
 ※2 出典 国立がん研究センター がん情報サービス
 がんの原因すべてが生活習慣によるものではありません。
 ※3 接種にあたっては有効性とリスクを十分理解した上で接種するかご判断ください。
 9価のHPVワクチンは子宮頸がんの原因の80%~90%を占める7種類のHPVの感染を予防することができます。
 出典 9価HPVワクチンについて(厚生労働省)
 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_9-valentHPVvaccine.html)
 ※4 出典 全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告(国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター, 2020) 独立行政法人国立がん研究センターがん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書

定期的に検診を...

私もがん検診を受けています。早期の段階では、自覚症状がないことが多いと言われていたので定期的に検診を受けることは大切ですね。



静岡市観光親善大使 森 理世 さん

【宣言】あなたが今日から取り組むこと

例えば...

たばこをやめる

→禁煙支援(最大1万円補助)



運動する

→元気静岡マイレージ(景品が当たるかも)



HPV ワクチンの接種を受ける

→対象者(小6~高1相当の女子)は接種無料



がん検診を受ける

→日曜日に受けられる健診や託児付き検診もあり(職場で受診機会がない方)



あなたはいくつご存知ですか？

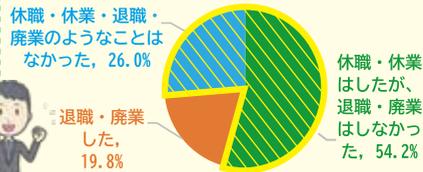
2. 患者等の支援

☑️無料でどなたでも相談できる※1
がん相談支援センターがある

医療機関	電話番号
静岡県立総合病院	247-6111(代表)
静岡市立静岡病院	253-3125(代表)
静岡県立こども病院	247-6278(直通)
静岡赤十字病院	254-4311(代表)
静岡済生会総合病院	280-5038(直通)

☑️がんと診断されても
すぐに仕事を辞めないで

約8割の方が
就業を継続



出典 患者体験調査報告書 平成30年度調査 国立
がん研究センターがん対策情報センター(令和2年10月)

☑️がんの原因は、悪い
生活習慣とは限らない

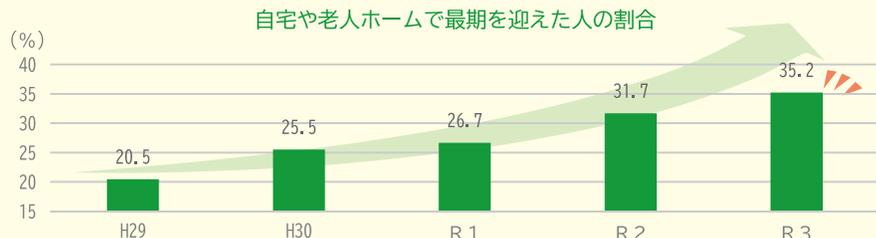


☑️体や心などのつらさを和らげる緩和ケアを
診断された時から受けられる

進行してから



☑️自宅や老人ホームで最期を迎える人が増えている



出典 「人口動態調査」(厚生労働省)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>)を加工して作成

☑️希望する医療やケアを前もって考え、医師や家族などと
繰り返し話し合い共有すること(ACP※2)が大切



住み慣れた環境で...

最近では、在宅医療や介護サービスによって、自宅や老人ホームで安心して療養生活を送ることができるようになってきています。誰もが住み慣れた環境で最期を迎えられることができるといいですね。

静岡市観光親善大使 春風亭 昇太 さん



【宣言】あなたが今日から取り組むこと

例えば...

がん患者さん・ご家族

⇒がん患者さんやご家族を支える相談窓口や支援は右記の
2次元コードからご確認ください



悩みやつらさを相談してみる

⇒がんガイドブック P2 へ

自宅や老人ホームでの療養について相談する

⇒がんガイドブック P19-P22 へ



痛みや不安を担当医等に伝えて緩和ケアチームによる緩和ケアを受ける

⇒がんガイドブック P6 へ

がんにかかっていない方

がん患者さん・ご家族に「がんガイドブック」を紹介する

がんと診断されてもすぐに仕事を辞めないでと職場の人に伝える



※1 通話料や通信料を除く。

※2 アドバンス・ケア・プランニングの略で、もしものときのために、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと、人生会議。

出典 厚生労働省ホームページ(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)



受けられる支援の例（状態別）



1. 予防と早期発見

健康の維持

1

- 禁煙支援事業
- 健康教育・健康相談（食生活、適正体重の維持、身体を動かす、節酒）
- ワクチン無料接種※1（HPV※、B型肝炎）
※子宮頸がん等の原因となるヒトパピローマウイルス



検診

2

- がん検診
胃がん・子宮頸がん・乳がん・大腸がん・肺がん等
- B型、C型肝炎検査

職場で受診機会がない方のがん検診の詳細は下記の2次元コードをチェック



要 精密検査

精密検査

3

- 健康保険を使って受診する



異常なし

異常なし

2. 患者等の支援

がんの診断直後

4

- しずおかし がんガイドブック
- がん相談支援センターへの相談（P2） ● セカンドオピニオン（P5）
- 担当医や緩和ケアチームへの相談（P6） ● 患者会への相談（P2）
- 患者や家族の交流の場（P27.P28）
- 正しい情報の入手（P29.P30）

詳細を掲載しているしずおかし がんガイドブックのページ番号をご確認ください



治療中

5

- 高額療養費制度等の医療費の助成（P7.P8）
- ウィッグや乳房補整具の補助（P23）
- 仕事と治療の両立（P15.P16）
- 子育てと治療の両立（P17.P18）
- 予防接種再接種費の補助（P26） ● 妊よう性温存治療の補助（P26）
- 希望する医療やケアを医師や家族と繰り返し話し合う（ACP※2）（P20）



療養中

6

- 自宅や老人ホームでの療養の準備・相談（P19-P22）
- 介護保険（P19.P21）
- 在宅療養の補助金（P20）



※ 順番や各支援は一例であり、その時点でなければ各支援や相談窓口を利用できないわけではありません。
 ※1 接種にあたっては有効性とリスクを十分理解した上で接種するかご判断ください。
 ※2 アドバンス・ケア・プランニングの略で、もしものときのために、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと、人生会議。 出典 厚生労働省ホームページ（https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html）

がんと診断されたら

第1期 静岡市がん対策推進計画 中間評価・中間見直し 概要

計画概要

- 根拠** 静岡市がん対策推進条例（平成31年4月）
- 目的** がん対策の総合的かつ計画的な推進
- 期間** 令和3年度から令和8年度まで（6年間）

基本理念

全ての市民が、がんに対する意識を高め、がんとうき合い、がん患者とその家族の心に寄り添うことができ、たとえがんにかかったとしても生涯を通じて自分らしく生きることができる社会の実現



中間見直しの趣旨と背景

中間評価により進捗状況を確認するとともに、計画の進捗状況や本市の課題・社会状況の変化を踏まえて計画を見直し、一層のがん対策の推進を図ること



現計画の中間評価

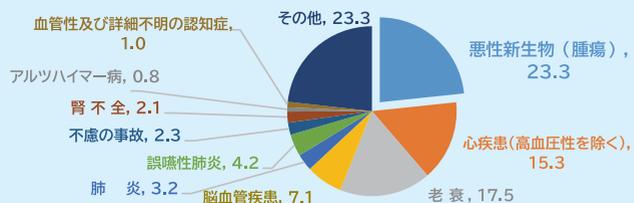
- 概ね計画どおり進捗している(成果指標評価 S11,B3,C1)
- 一部のがん検診受診率・精密検査受診率、自宅看取り率等が向上した



社会状況

- [1] ウイルス等への感染が原因のがんがある ※1
- [2] 早期発見で9割の方が5年後も生存可能 ※1
- [3] 生涯のうちに約2人に1人ががんにかかると推測されていることの認知度が低い(本市54.5%(R5)) ※2
- [4] 死因の第1位(本市23.3%、全国24.6%) ※3

本市における死因(%)



出典「人口動態調査」(厚生労働省)R4をもとに静岡市算出

見直しの4本柱

その1 予防に**感染症対策**を追加



その2 早期発見による死亡率減少のためがん検診の**精度管理**の充実を追加

※適正な検診実施体制の確保と実施状況の把握



その3 **市民(大人)へのがん教育**の推進



その4 **データに基づいた計画**の見直し



主な成果指標

- NEW** [1] HPV^{※4} ワクチン接種実施率 36.0%⇒52.0%
※子宮頸がん等の原因となるヒトパピローマウイルス
- RENEWAL** [2] がん検診受診率の向上
子宮頸がん 53.9%⇒60%
大腸がん 24.4%⇒27%等
- NEW** [3] 生涯のうちに約2人に1人ががんにかかると推計されていることの認知度 54.5%⇒60%
- NEW** [4] 年齢調整死亡率^{※5}の減少 70.1⇒67.9
(10万人対 3年平均)



すべての人に健康と福祉を



※1 一部を除く。出典 国立がん研究センター がん情報サービス ※2 令和5年度静岡市市民意識調査
 ※3 出典「人口動態調査」(厚生労働省)(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html>) R4をもとに静岡市算出
 ※4 市発表の統計資料に基づき、下記の方法で推計対象者を基にした実施率を算出。
 HPVワクチン接種実施率=HPVワクチン3回目の実施件数/当該年度の9月30日時点までの標準接種年齢(13歳)の女子の人数
 ※5 10万人対の年齢調整死亡率(75歳未満)を示している。出典「人口動態調査」(厚生労働省)及び推計人口(静岡県)を加工して算出
 算出時の推計人口の出典が、本市と全国とで異なるため、両者の値を単純には比較できない。

施策の体系 【赤字は見直し箇所】

大分野

小分野

取組

事業例

事業内容例

がんの予防と早期発見の推進

予防の推進

- がんを予防する生活習慣の普及啓発
- 受動喫煙防止のための環境整備
- 食生活改善の推進
- 感染症対策の推進 **NEW**



- 禁煙支援（補助金）、元気静岡マイレージ
- 受動喫煙防止（民間施設、庁舎）
- 食育応援団派遣、Xでの情報発信
- HPVワクチン接種・勧奨



禁煙支援

禁煙治療を完了した方への治療費の補助



早期発見の推進

- がん予防への支援・普及啓発
- がん検診の受診勧奨
- がん検診の精度管理の充実 **NEW**



- 健診まるわかりガイドの配布
- 個別受診勧奨（ナッジ理論を活用）、サンデー健診、託児付き検診
- がん検診精度管理協議会・部会

がん検診精度管理協議会・部会

がん種ごと精度管理部会を開催し、検診の精度管理※1を実施（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）



がん教育とがん予防の普及啓発の充実

- 学校におけるがん教育の推進
- がん予防への支援・普及啓発（再掲）

- 医師等によるがん教育
- 健診まるわかりガイドの配布



がん患者等の支援の充実

相談体制・情報提供体制の充実

つなぐ・支えるプロジェクトの推進

- 相談・医療提供体制の充実 **NEW**
- 情報提供の充実と普及啓発 **NEW**
- 事業所・就労（希望）者に対する支援による治療と仕事の両立支援

がん患者・家族向けガイドブックの作成・普及

- がん相談支援センター、がんサバイバー交流会
- 医療機関の情報提供、市民向け「正しい知識」の普及啓発
- 治療と仕事の両立支援、出張相談、治療と仕事の両立支援セミナー、労働相談、補整具購入費助成

がんサバイバー交流会

がん患者やその家族などが情報交換できる交流会

市民向け「正しい知識」の普及啓発

治療と仕事の両立やACP※2を含めて、がん患者や家族に対する市民理解を促進

若年がん患者・在宅医療等への支援

- 若年がん患者等への支援
- 在宅医療・介護の提供体制の整備



- 男性用サニタリーボックス設置、生殖機能温存の補助金
- 緩和ケアフォローアップ研修会、在宅療養の補助金



治療と仕事の両立支援セミナー

がん患者が働き続けられる環境を整備するためのセミナー

補整具購入費助成

がん治療による外見の変化を補うウィッグや乳房補整具の補助金

※1 適正な検診実施体制の確保と実施状況の把握 ※2 アドバンス・ケア・プランニングの略で、もしものときのために、望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと、人生会議。 出典 厚生労働省ホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html)